

大艦巨娘主義 参



RAPID RABBIT KAN-GOLLE FANBOOK



製作 急行兔
原作 艦隊これくしょん

謎の異形の軍団によって行われた
世界規模の海上封鎖により
地球連合軍とも言える各国の対抗が始まる。

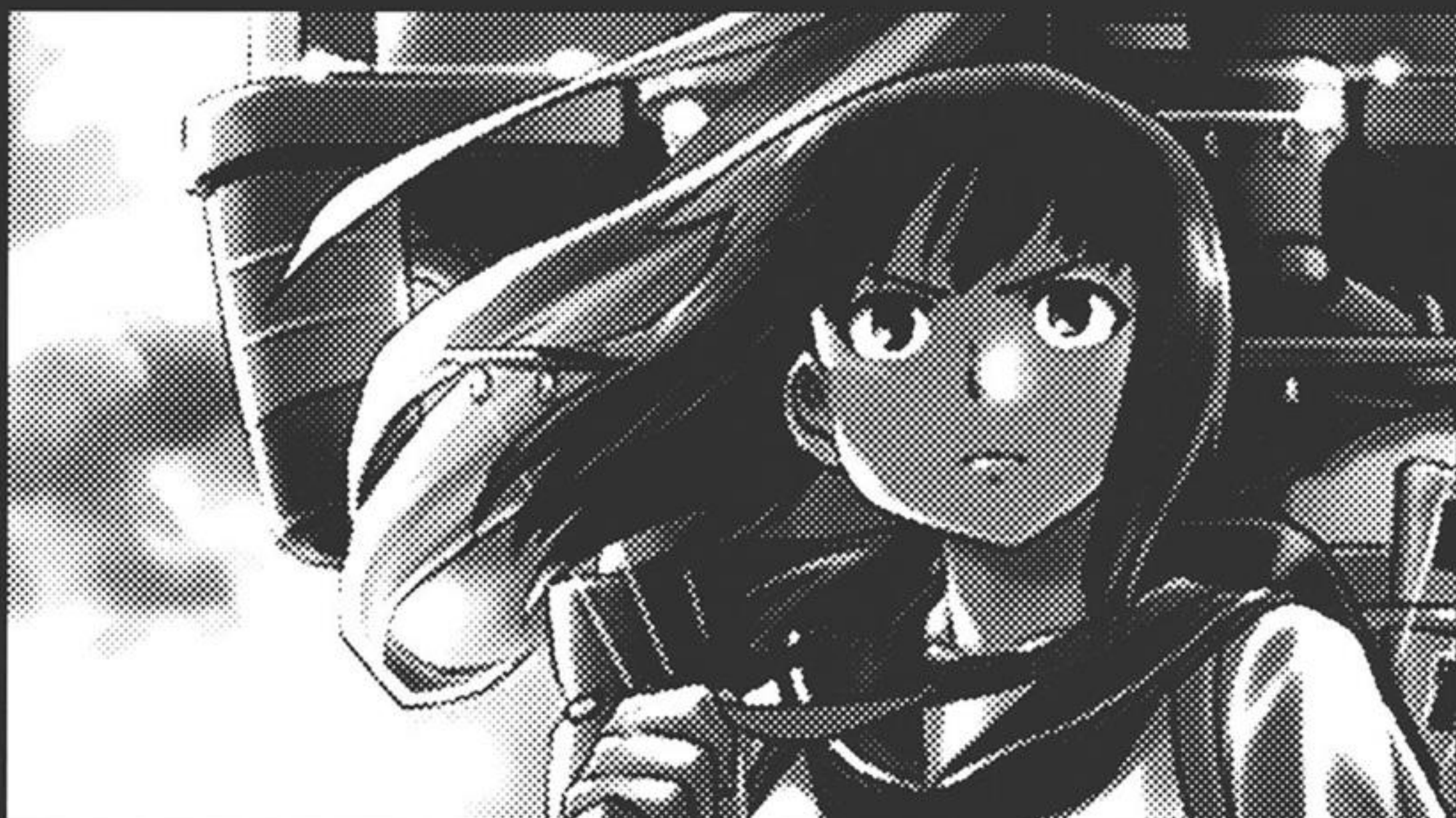
そのおそらくは深海からやって来ると
推測された軍団を深海棲艦と命名。
世界規模の大海戦時代が到来であった。

その最中、艦娘と呼ばれる深海棲艦への
切り札とも言える人型巨大兵器の導入が行われる。
これにより一応の対抗手段が生まれた。

そんな折行方不明となっていた艦娘の生みの親
田中技術大佐が姿を現す。

その歪みつつも純粋な野望を携えた彼とともに現れたのは
真紅の瘴気を纏う恐るべき赤の深海棲艦であった。

彼が何のために現れ、また、何のために深海棲艦を駆り
世界を相手取ったのかわからぬままに、今日とて
巨躯を海原に映した艦娘は世界の海を駆ける。



目次

伍

佐世保鎮守府編 マヨヒガ

拾壹

横須賀鎮守府編 番の牙

作画 ともつか治臣

沖ノ島で
作戦行動中の
艦隊から
緊急入電！

大破艦2
中破艦3！

牽引しての
帰港に支障があり
戦闘海域から
離脱中との報！

了解したと
返信しろ

直ちに
救援に向かえ！

佐世保鎮守府

佐世保鎮守府司令官

第四ドックと
緊急修理班に
連絡！

明石と乗員は
準備を急げ！

明石の
出番ですね

そうみてえ
だな

カチカチカチカチ

作業ブロック
切り離し
完了しました！

洋上作業用
艦装接続！
資材搬入急げ！

今日は帰還
艦隊もいねえし
のんびり休めると
思ったらこれだあ

キョッ

佐世保鎮守府編

マヨヒガ

工作艦『明石』は
現在唯一量産が
可能となった
艦娘である

というよりも

彼女が量産され
各鎮守府に配備
出来たことにより
艦娘を分散して
配置できるよう
なったといえるだろう

頑張ろうね！

比較的近場とは
言え危険な海域だ！

護衛艦には
榛名と連
五月雨を付ける！

彼女が何故唯一
量産できたかには
幾つか理由が
推測できる

はいさつき

彼女に要求
された艦娘と
しての能力が
非常に局地的
である事

そして艦娘計画に
於いて最優先で
田中技術大佐を
始めとする当時の
メインスタッフらが
優先して量産を
踏まえた開発に
勤しんだ事にある

敵艦戦機による
遠撃し予想される
対空編隊
重視していく
敵艦の遠撃は
控えるぞ

了解です
大丈夫です

第四ドック
切り離し準備！

移動船渠
接続開始

明石再起動！！

また明石の性質上
艦娘個人より
搭乗員に依存する
こともあり
晴れて明石は
各鎮守府に配備される
こととなった

遠征整備班
搭乗完了!

対衝撃態勢!

この技術は早期から
艦娘の共同開発国で
あった英、独にも
影響を与え現在の
世界各地の艦娘の
作戦活動の地盤を
固めた

つまりは

全艦
加速器点火!

明石は伊勢や白雪と
いった第一世代艦娘の
時代から鎮守府を
支えてきたのだ

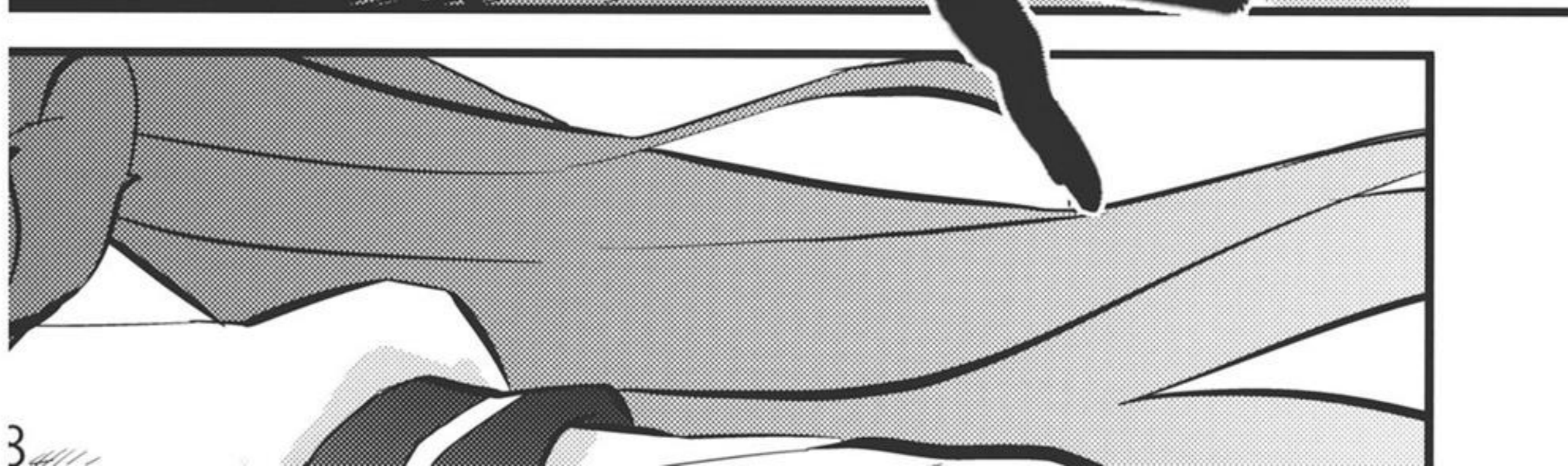
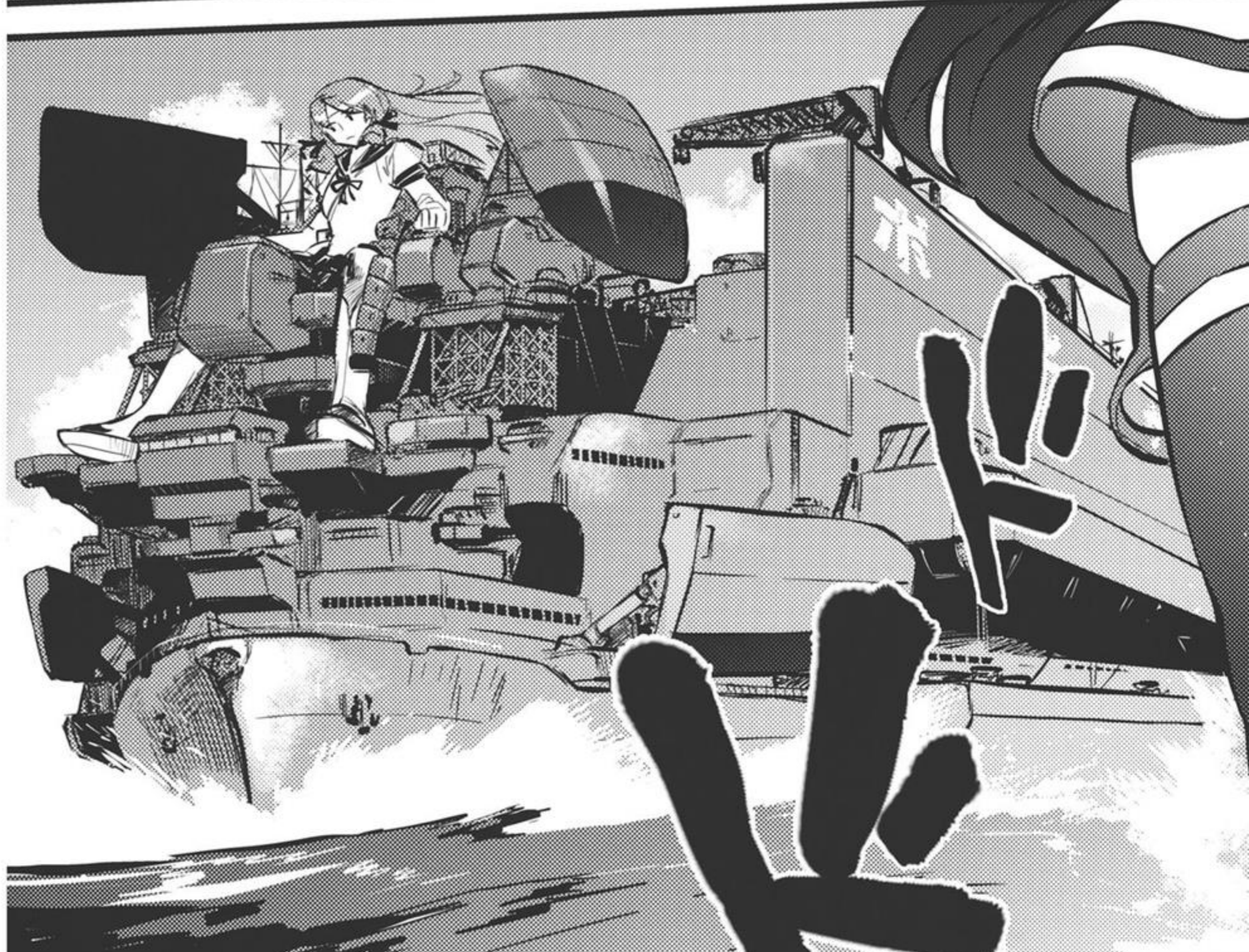
これより我々
第四艦隊は
沖ノ島の戦闘
海域にて窮地にある
友軍の救援に
向かう!

一刻でも早く
到着し戦傷に
喘ぐ艦娘と仲間を
救わねばならん!!

全速前進!!!

そして現在

明石は改良と
改装を重ね



作戦行動中の
全乗員の粉骨碎身の
尽力を願う!!

今も艦娘らの
奔る海を
見守っている

超弩級移動船渠搭載工作艦 明石

工作艦明石

行きます!!!

質問

揺れすぎて乗員死ぬだろ！



はい死にます。普通は。まあ漫画なんで一。と、雑にこなしてしまうのもあれなので説明いたしますと、一応設定的にはうちの艦娘の艦装は普段海上に投錨して停泊しており、鎮守府の艦娘素体寮に女子部分は保管されております。出撃の際は海上まで移動し、そこで艦装を各艦娘の背面にあるコネクタと接続し艦娘の意識と艦装をつなぎます。そのコネクタの艦娘側、艦装側ともに振動や衝撃を自動で緩和するための強力なオートサスペンションが仕込まれており、搭乗員を守っております。それでも手持ちの砲や艦装から伸びるアームの先の砲などはその恩恵がほとんど無いため乗員の評判も悪く、また長期の勤務に耐えられないため最も出入りの激しい場所です。

質問

じゃあ手持ちの連装砲の人はミンチなのかな？

多分すごいがんばってるんじゃないですかね

がんばってる



短い間だったが
ここでの任務
悪くは無かったぞ



徐々に新たな
艦娘の開発が
進むと共に

一部制海権の
奪取により
新規に生まれた
新たな鎮守府



今生の別れでも
無いわ

そうね

それらを含めた
艦娘の配備の
見直しが行われ
ここ横須賀鎮守府
からも数人の艦娘の
異動が行われた

横須賀鎮守府編

つがい

番の牙

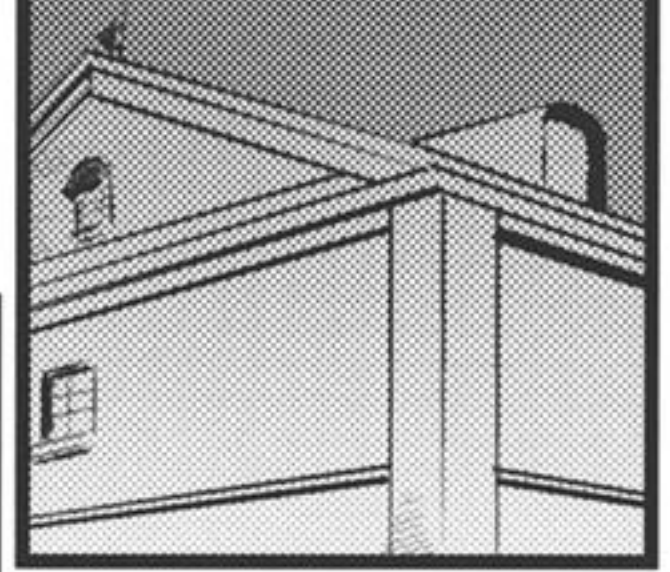


またどこかの
任務で会いましょ

随分減ったな



よそでも
元気にやって
くれると
いいのだが



前線のところと
比べればここは
距離もあるし
比較的安全な本土の
鎮守府だからな

お前さんにとっては
心配事が増えたが
まあしかた
あるまいよ

現艦娘開発部総指揮官
早乙女技術大佐

早乙女さん



およびだてして
申し訳ありません

なに

艦娘が減った分
暇もできた
…とはいえ…

これでようやく
私も田中君の
尻拭いから
開放されて自分の
研究に戻れる
かと思いきや

おほこの
新造艦も
回されて
頭が痛いよ

その
田中技術
大佐に

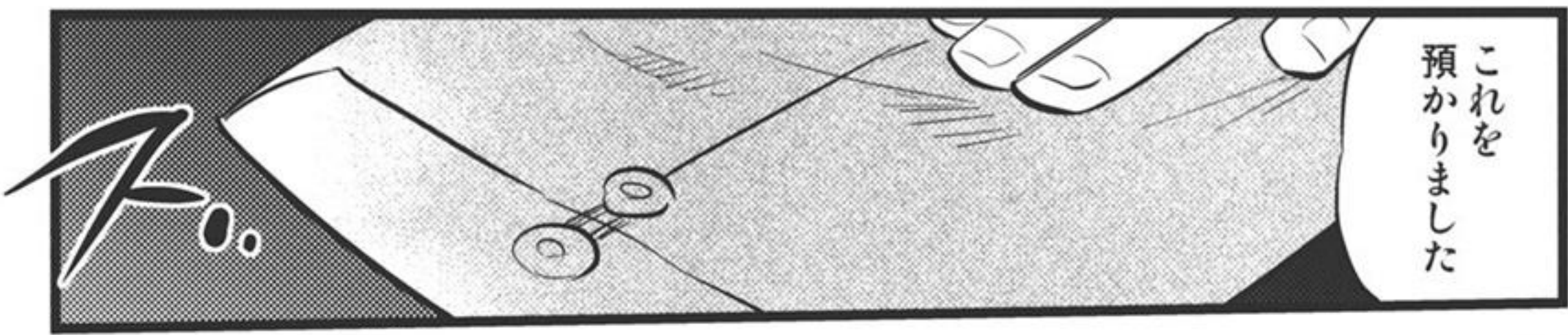


先日
会いました

!?

生きて…
おったのか…?

なにがどう
なっているのか
私にもわかり
ません



これを
預かりました



これは…!

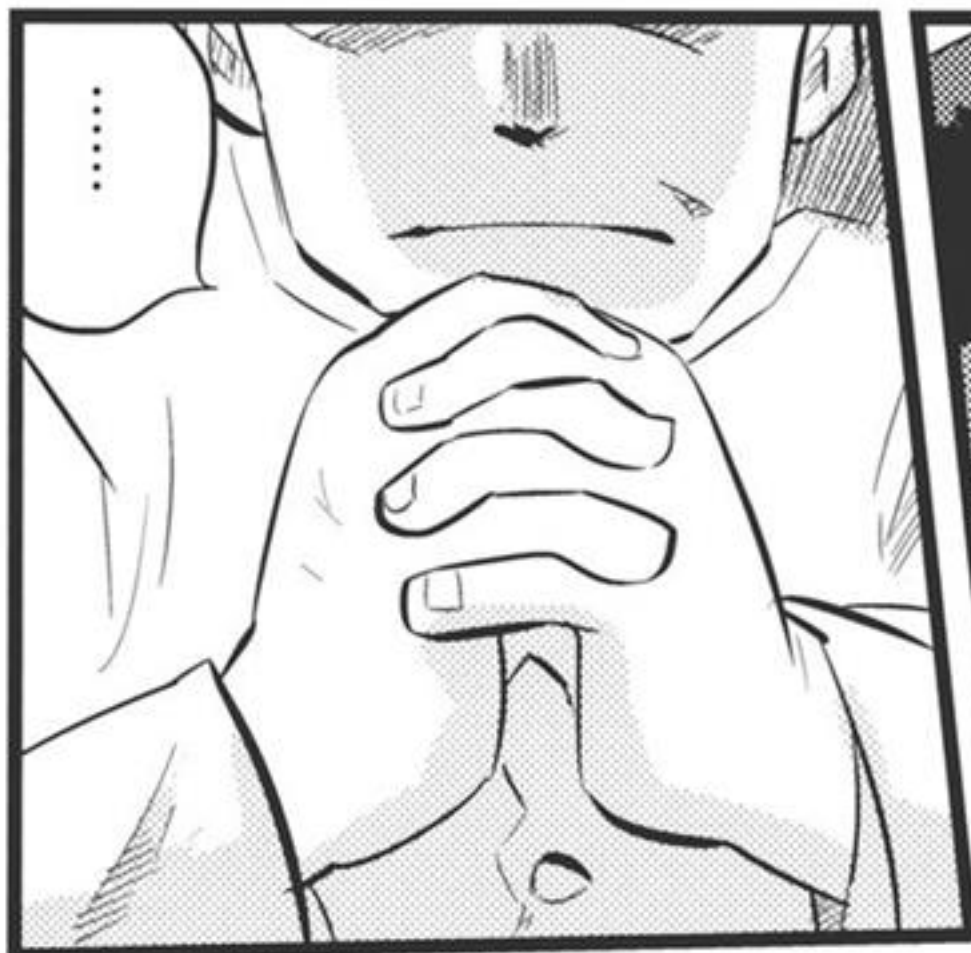
…信じられんが
冗談でもなさ
そうだな

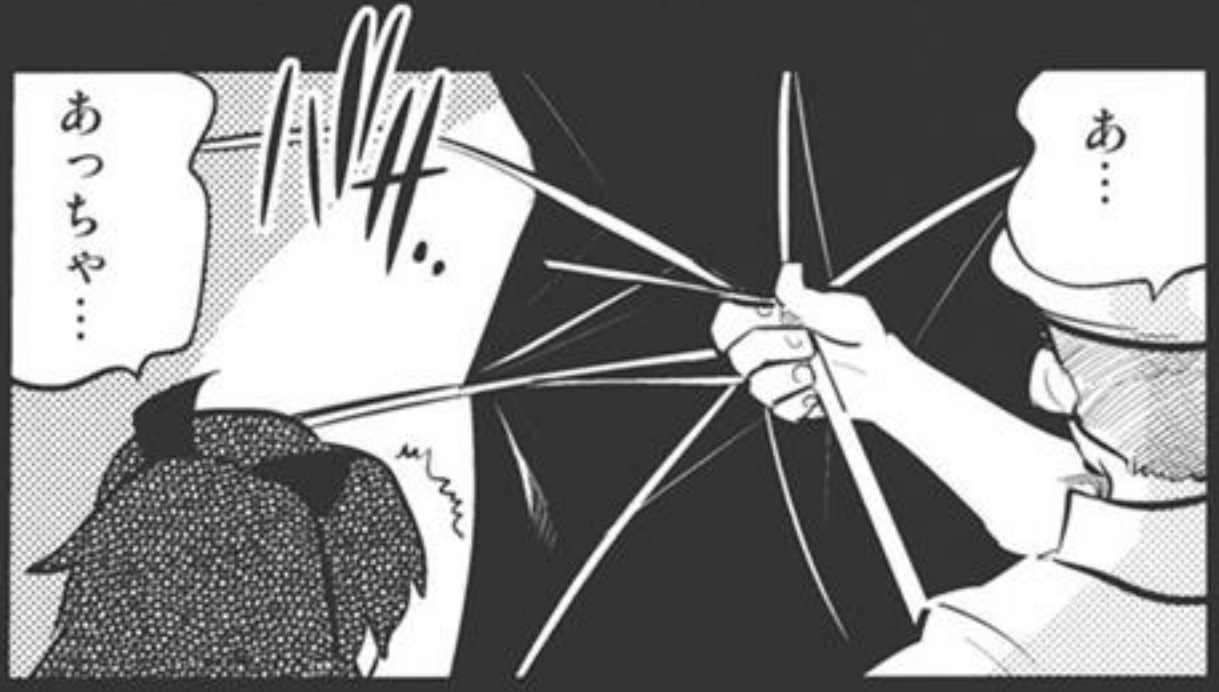
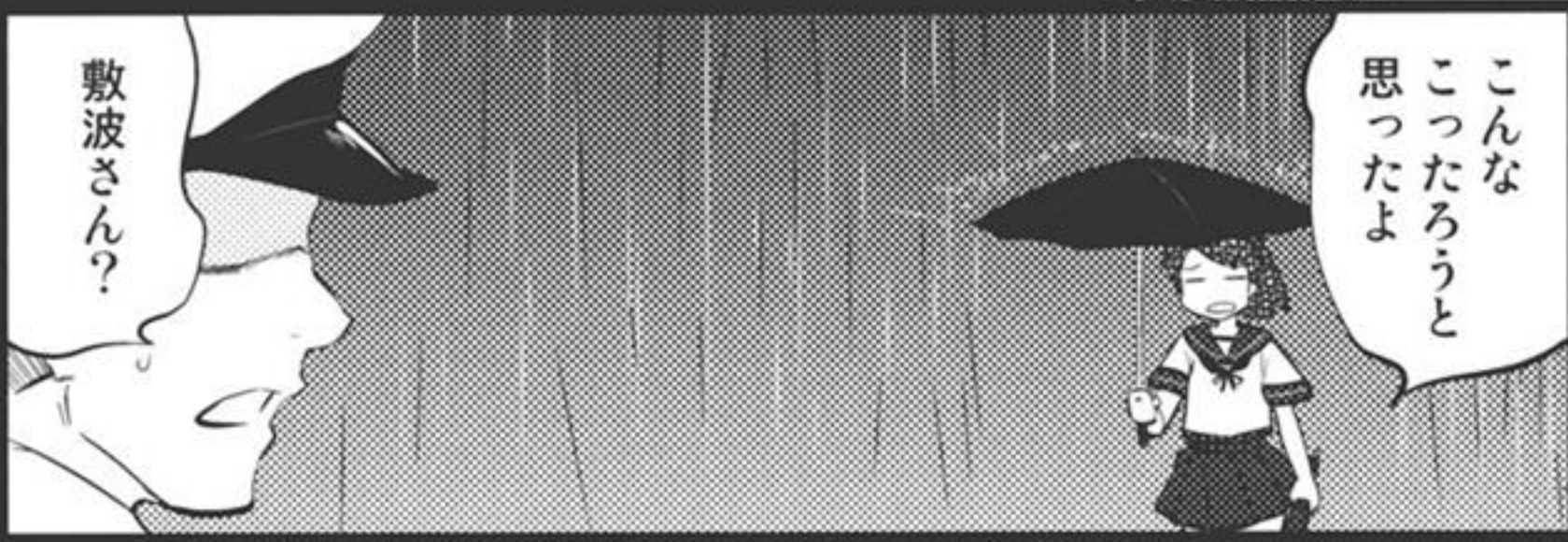


これを
海軍本部へは?

いえ

田中技術大佐の
ことも含めて
報告していません





…寒くは
ありませんか？

ん？
あー

いやそこは
アンタが
暖かいから
平気だよとか
言おうぜ？

あたしはホラ
チョー兵器だからさ

こんな雨
濡れたって
平気だしさ

ニミューニミュー
マホカガヒ



こ…
声に出てた？

まあ多少は

あー
知ってる
知ってる

機関兵曹の
○○さん…

非番でも出てきて
お前の艦装清掃とか
やってる人だろ？

で…相手
誰だよ？
教えろよ

うるっ
さいな

いーじゃん
いーじゃん

乙女
だね





えっへへ
駆逐艦吹雪
夜間哨戒から
只今戻り
ました！



ああああああ
逢引じゃない
ですよたまたま
漁帰りとよく
鉢合わせてる
だけですよ

んなこと言つて
また烏賊漁帰りの
オトモダチと
逢引してきたん
だろ？



妄想恋唄
おいしいです
人が悪いな！



近海の漁船から
救援信号！

こんな嵐の夜も
深海棲艦さんは
勤勉なんだな
こんちくしょう

でもヤバく
ない？



主力艦隊は
作戦行動中

残ってた
大型艦はみんな
他の鎮守府の
近海作戦活動の
防波隊として
出動中だ

居残り組は
わたしら
だけだぜ？

※防波隊

近海での戦闘における大型艦
同士での格闘戦によって生まれた
高波から本土沿岸を防御する部隊。
通常艦隊戦では起こりえない災害は
通常艦船では防げない。



出れるのは
二人が限界だ

あ
無理

あたしの艦装
今部位入渠中

そんなの一人
残していく
わけにも
いかないか

私が行きます！



よっしゃ
いってこい！

……とまあ
あの提督なら
言うだろ！

そんな雑な

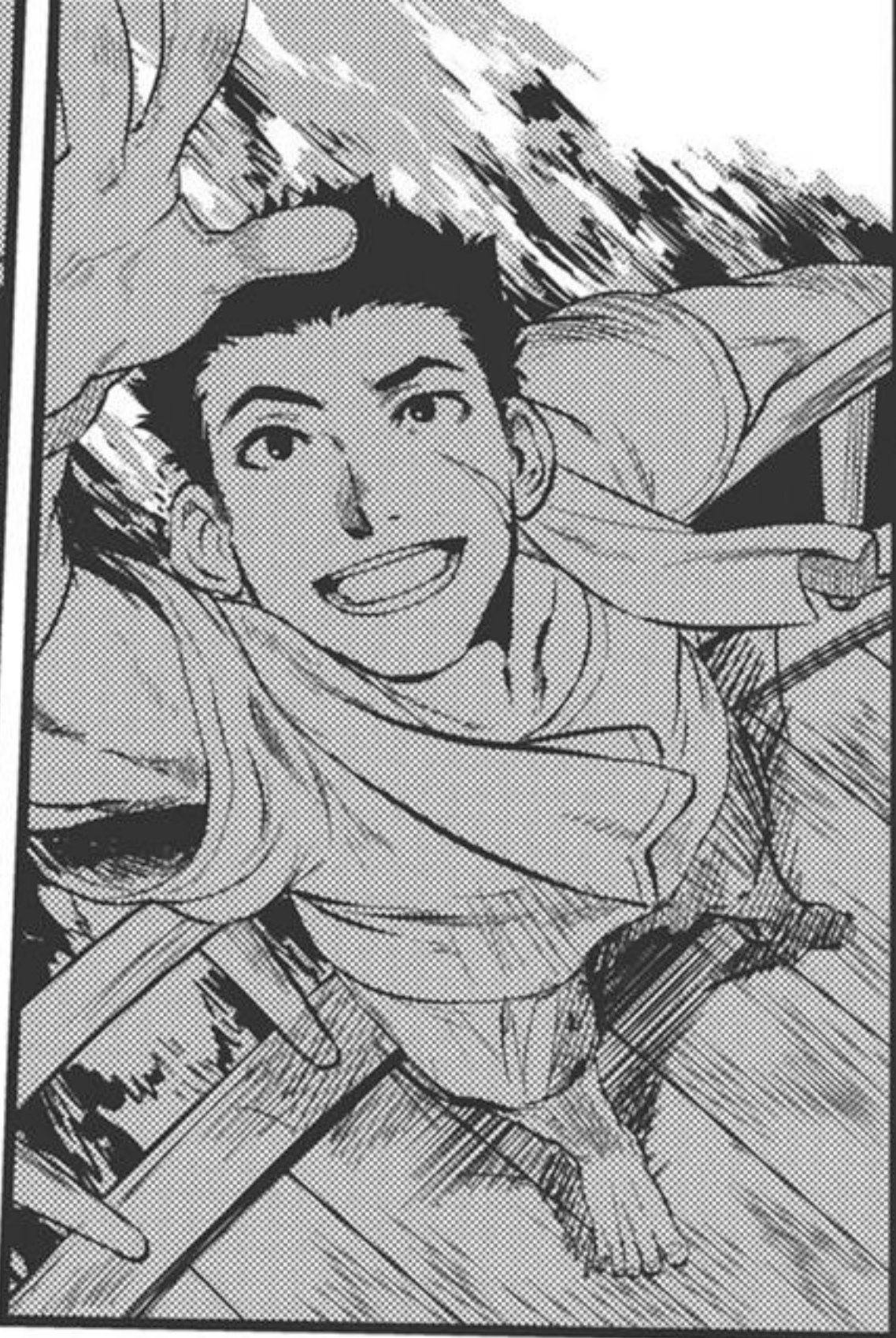
大丈夫大丈夫
どうせ出たのなんて
件の近海海戦の
手負いの雑魚だろ



ヤバけりや
漁船抱えて
逃げりや
いいさ

ほんと雑
ですね

あんときの
漁船だろ？



試作艦から
正式配備
されたのかも
しれませんが
とにかく

彼女は現状
健在の艦娘の
中で

最も
田中技術大佐の
建造技術を受けた
可能性が高い

彼から預かった
こいつが如何程の
ものかは私も
わかりませんが

父親の遺産を
受け継ぐのなら
やはり彼女が
適任ではないで
しょうか

皆今週は
艦娘と乗員の
異動や事後処理で
出撃は少なかったが
色々大変だったと
思う

だが我々の
鎮守府にも
新たな人員と
新造艦も
来てもらった

全体朝礼

あらためて
紹介しよう

特殊連装砲の
運用実験を兼ねて
開発される陽炎型の
最新鋭機

短銃型連装砲
装備の内十四番艦
駆逐艦『谷風』君

谷風だよ！

これから
お世話に
なるね！

そして突撃銃型
単装砲の長良型

艦齢は鬼怒が
妹だが素体は
出来立ての
ほやほやだな

長良型軽巡洋艦
『五十鈴』君だ

よろしくね！

両艦共に
新造艦故に
乗員はそれぞれ
引継ぎの終わった
皆に頼む事にな
る

そして人事異動の
際空席となった
吹雪の副艦長には
急遽赴任して
いただいた

偽造書類
だかな



奥山大尉だ



え



何？



えええええ!?

一時は
予想外の珍事に
吹雪は喜ぶかも
しれないが

僅かに時が経
真意を知れば
彼女は私を
恨むだろうな

死地に彼を
呼び寄せた事
恋路を利用
した事

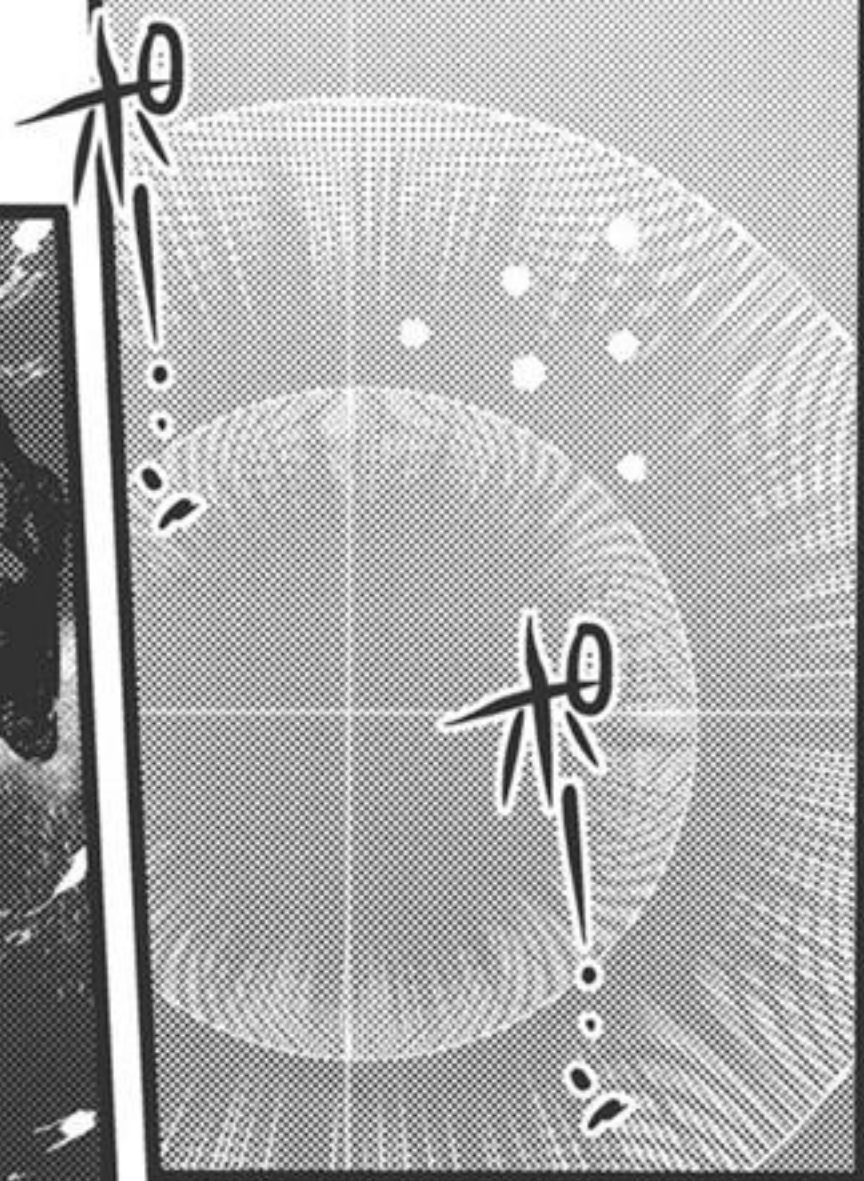
言いだしたら
キリがない

私は裏切り者だな



敵影確認
戦艦型 1
重巡型 2
軽巡型 1
駆逐型 2

カキ...

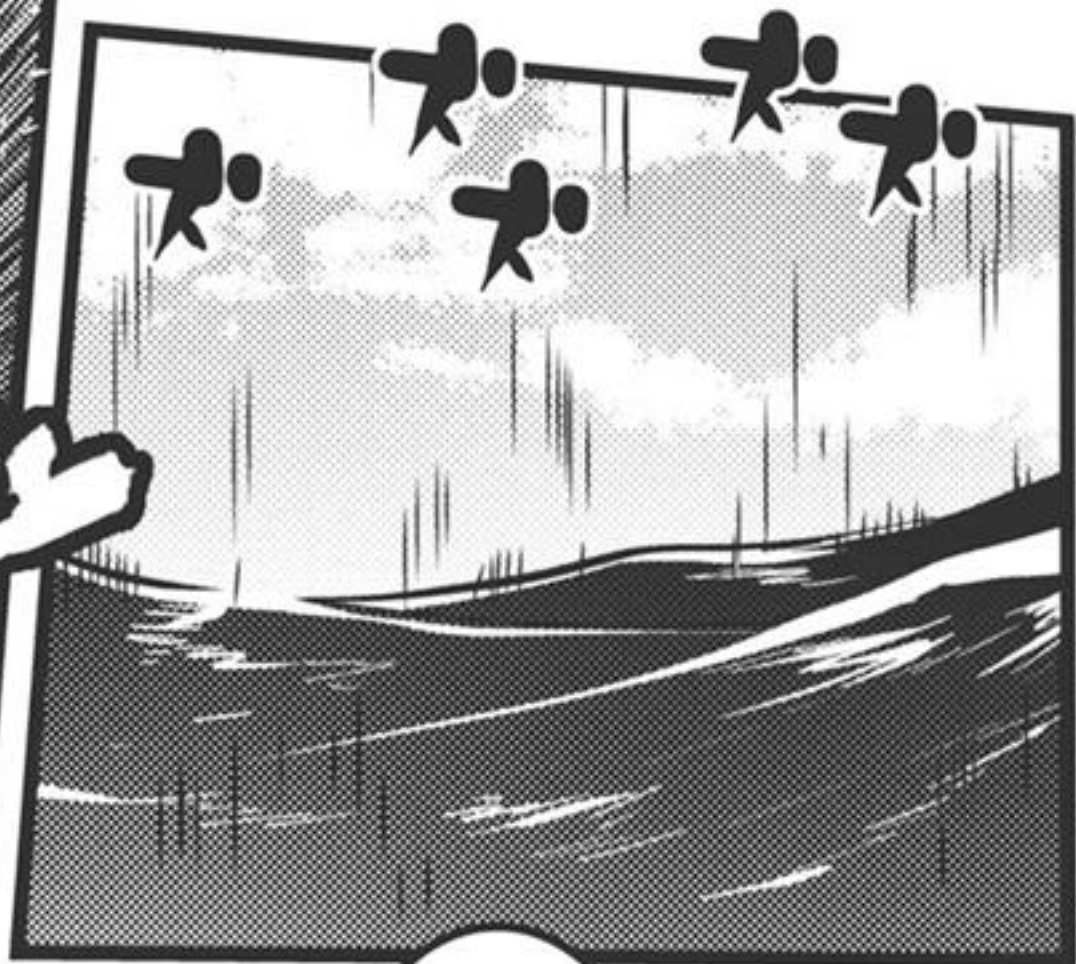


四時間で式號と
合流できるが

イエ
問題
アリマセン

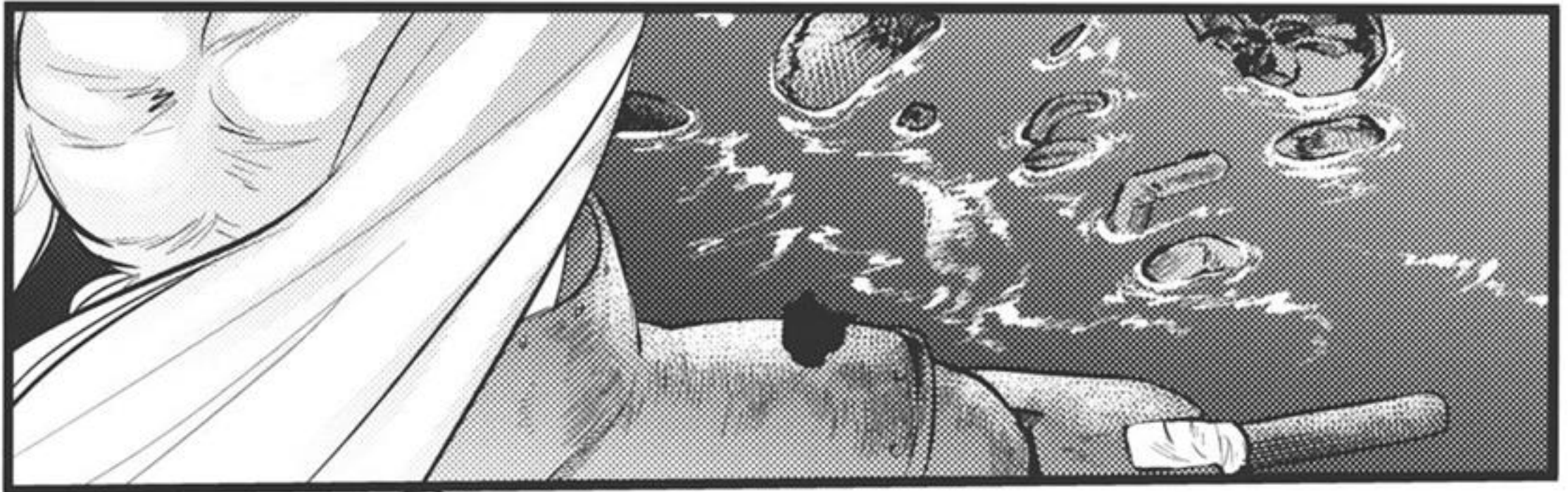
海中デノ
近接戦デ
片ヲ付ケマス

カキ...



『姫級』艦装の
調子は上々の
ようだな





明確ではないが
陸へ向かう指令が
伝播した者が増えて
いつている気が
するな

まだ検証が
不十分では
あるが



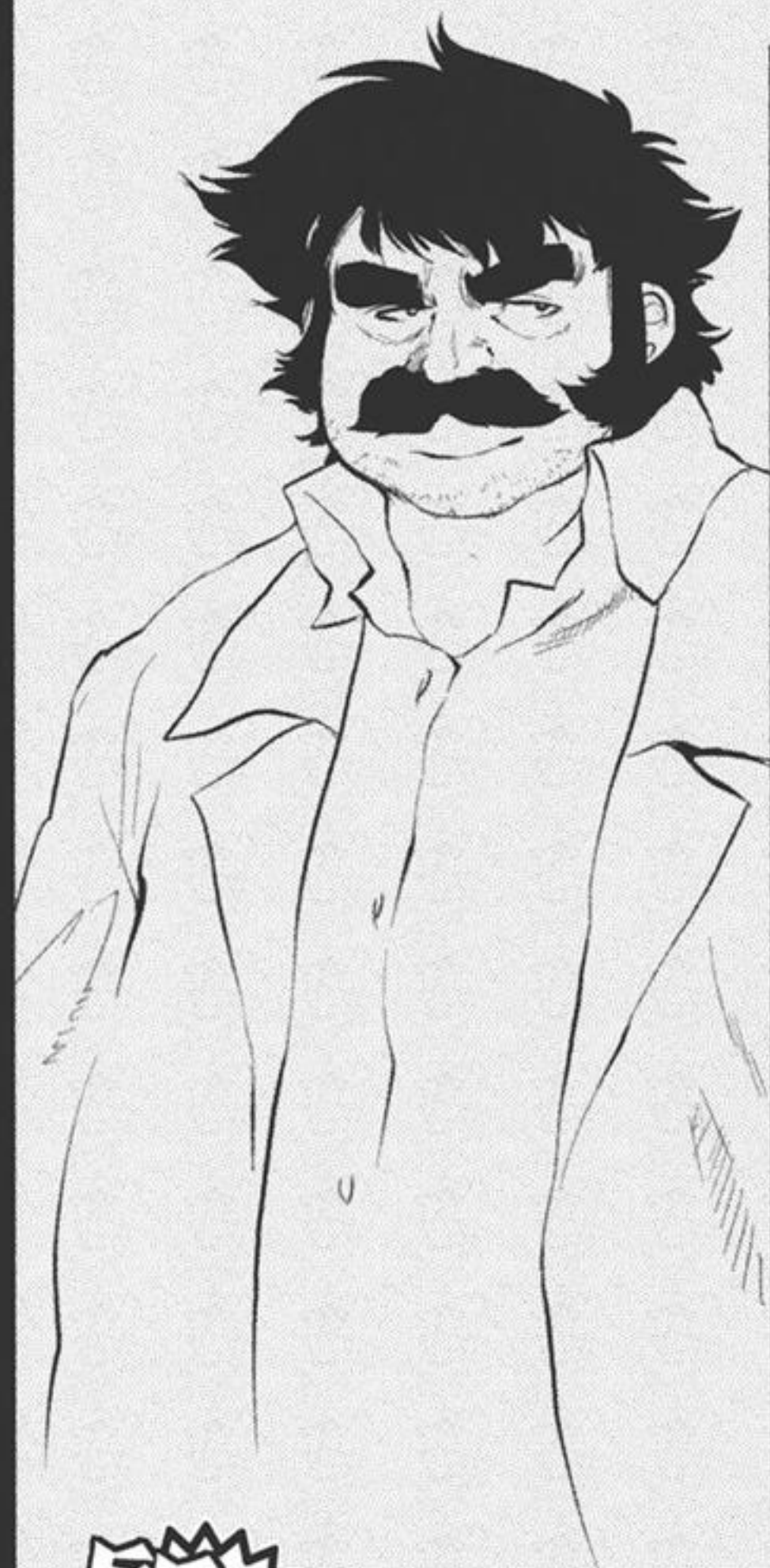
…もう
それほど

人間に時間は
残されて
いないのかも
しれんな

つづく

質問

早乙女技術大佐って…



ご存知の方もいるかもしれませんが一巻でも語られたように、島国である日本の資源に不安を抱え、海底資源に目をつけた田中技術大佐と同様、月面開発と言う一見荒唐無稽な理論をその才能でねじ伏せた著名な科学者です。深海棲艦が現れるまでは新エネルギーの理論と研究の完成にとりかかったばかりでしたが、そのさなか同じ考えを持ち交流のあった田中技術大佐の謎の失踪が起こり、兵器にも精通していた早乙女は技術大佐として軍に半ば強制的に迎えられ艦娘の開発と改良に駆り出されてしまった。

謎の多い月面での運用に複雑な機構の兵器では不安が多かった早乙女は宇宙空間というほとんど未知の空間では斧や剣といったものが必要になると仮定し、そういった巨大な武器の開発を同じく過酷な状況のサンプルとして深海でのテストを行っており、それらの技術は現在の艦娘の近接兵装に大きく貢献されている。

質問

あの書類みてえなのはアレなん？

そらあれやで

大艦巨娘主義 参

発行 急行兎
URL <http://rapidrabbit.jp/>
Pixiv <http://www.pixiv.net/member.php?id=230418>
発行者 ともつか治臣
印刷 株式会社松本コロタイプ光芸社

2014/12/29 初版発行

無断転載等を禁止します
乱丁などありましたら
ご連絡ください

ご愛読ありがとうございました。